

しもつけバイオクラスター
平成 23 年度 研究報告会

第 1 回

2011.4.13(金) 15 時～18 時

於 バイオサイエンス教育研究センター
プログラム

1. 地球温暖化指標種としての活用を目的としたトビウオ類の生物地理学的研究
(米沢純爾・上田高嘉)
2. 芳香族化合物に走性を示すバクテリアの探索とその反応特性の解析
(荷方稔之)
3. 全国初の ORAC 情報を表示した栃木県産高付加価値清酒の開発
(齋藤高弘)
4. 栃木県の農地土壌の放射線量の測定と放射性セシウムの土壌からの分離技術の開発(その1)
(夏秋知英)
5. 栃木県の農地土壌の放射線量の測定と放射性セシウムの土壌からの分離技術の開発(その2)
(上原伸夫)
6. 鹿沼市の伝統野菜「鹿沼菜」の復活とブランド化をめざす優良系統の選抜
(金子幸雄)

しもつけバイオクラスター
平成 23 年度 研究報告会

第 2 回

2011.4.19(木) 15 時～18 時

於 バイオサイエンス教育研究センター
プログラム

1. ふくべの実を使った新感覚の加工食品の開発と商品化
(吉澤史昭)
2. 栃木県の地域資源ドロマイト(苦土石灰)活用した、Ca および Mg リッチな機能性野菜の作出
(石濱仁美・関本 均)
3. ナスに含まれる機能性成分の検討
(橋本 啓)
4. いちご萎黄病菌の宿主決定要因の探索と解明
(米山弘一)
5. 完全循環型キノコ栽培と残渣のバイオアルコール化
(横田信三・吉澤伸夫)
6. ねぎにらの成分特性の解析と用途開発
(宇田 靖)
7. 栃木県特産カンピョウの高品質・高効率・省力生産技術の開発
(柏寄 勝)
8. 栃木県特産物”イチゴ”の商品価値向上につなげる横断的研究
(柏寄 勝)

しもつけバイオクラスター
平成 23 年度 研究報告会

第 3 回

2011.4.25(水) 15 時～18 時

於 バイオサイエンス教育研究センター
プログラム

1. 公共花壇における卵菌類による土壌病害のエコロジカルな防除方法の開発
(山根健治)
2. 作物の環境ストレス耐性向上における 5-アミノレブリン酸の作用機構の解明
(野村崇人)
3. トマト黄化葉巻ウイルスの防除法の実用化と感染メカニズムの解明
(西川尚志)
4. アユの新規分子育種技術開発と種苗生産技術の高度化
(飯郷雅之)
5. 食品生産工程で生じる産業廃棄物(おから)の高機能ペットフードへの応用研究
(菅原邦生)
6. 食品残渣処理装置の腐敗臭発生を抑制する光触媒殺菌・滅菌機構の開発
(松本太輝)